

アカモク種苗生産への LED 灯の利用について

当センターでは食用海藻アカモクの種苗を生産し、養殖用として漁業者に配布しています。小型樹脂製ブロックの上に根付かせたアカモク種苗を立体攪拌培養^{※1}と呼ばれる方法で育成します。この方法は種苗を短期間で成長させることができますが、種苗の成長に応じて日光が遮られて水槽内部の光量が不足し、成長が停滞するという課題があります。

6 月 22 日に開催された KAFF-tech フォーラム^{※2}に参加の府内企業から紹介のあった防水性の高い特殊 LED 灯を水槽内部に設置し、光を補うことで、課題解決に向けた試験を行っていきます。

※1 立体攪拌培養：水槽底面から空気を出し、種苗を攪拌しながら培養する方法。個々の種苗に光がまんべんなく当たることで成長が促進される。(特許技術)

※2 KAFF-tech フォーラム：京都府農林水産技術革新創出会議。京都府が主催する農林水産業の成長・発展を目的とした技術革新につながる研究を進め、推進するための会議



開始時(水槽内部まで光が届いている)



1ヶ月経過(種苗の成長により、水槽内部は光量が不足)